

高橋建具製作所のカタログをご覧頂きありがとうございます。
私たちは、新潟の新発田(しばた)にて、「100年ともに暮らす建具」
をモットーに、無垢の木を使い、飽きのこない長く使えるシンプルな
建具を作っています。このカタログでは、玄関・障子・襖・格子戸など
の各建具の事例、作る際のポイント、材料等をご紹介します。
ごゆっくりご覧くださいませ。

【目次】

玄関	2
障子	6
襖.....	10
茶室建具	12
格子戸	14
木まじめシリーズ.....	16
簾戸	18
納品までの流れ	20
会社概要	21
別冊 図面集	

玄関



木曾檜 千本格子

■ 玄関を作る際のポイント

1、防犯

安全性の高い鍵を選び複数つけ、防犯硝子を使用すると防犯性の高い玄関となります。

防犯硝子を使用すると、重くなるので、それを支える戸車や、丁番も頑丈なものが必要です。

2、雨風・日射し

玄関は外部に面している為、長い間、雨風や日射しにさらされます。それに耐えるよう、部屋の中で使う建具より、丈夫に作る必要があります。水に強い木材を選び、その木材の中でも、外部の過酷な状況でも狂いにくい部分を使います。

■ 玄関で使う木材

木曽檜・秋田杉・新潟県産杉の赤太・青森ヒバ・米ヒバ・米松。どれも、比重が高く、脂気があり、水に強い材料です。

■ 高橋建具製作所の玄関の特徴

弊社の玄関の一番の特徴は、最良の素材を選ぶという事です。

玄関は、温かい部屋と寒い外の間であり、また、片面は太陽の熱を浴び続ける、木にとって大変な場所です。

職人が目と手の感覚をもとに最適な部分を選びます。丈夫で美しい玄関に仕上げます。



青森ヒバ 板貼り玄関戸



左:親子玄関戸(米松) 右:片開き玄関戸(米松)

障子



腰板付き障子 窓障子(新潟県産杉上物)

■ 障子を作る際のポイント

障子紙

障子の主役、障子紙。弊社では、一般的な大判の障子紙、手漉きの内山和紙、破れにくい障子紙の3種類を主に使っています。障子は、張替えが必要で、その時を想定して作るとメンテナンスが楽です。(ご自宅で張り替える時、市販の280mmの紙の大きさに棧の振り分けをあわせる等)

内山和紙は、張り方が難しいですが、時間が経つほど白くなる性質があり、10年はきれいな状態を保ちます。小さなお子様やペットのいるお宅は破れにくい障子紙がおすすめです。破れにくい紙も、樹脂成分の多い紙は、強力な糊が必要となり、木の痛みを早めてしまいます。弊社では、和紙成分の多い破れにくい紙を使います。木も傷めず、和紙特有の断熱性、調湿作用も大きい為です。

■ 障子で使う木材

新潟県産杉・秋田杉・木曽檜

■ 障子を使う場所

廊下と部屋の間 ・ 部屋と部屋の間 ・ 部屋とサッシの間 ・ 書院 等

■ 高橋建具製作所の障子の特徴

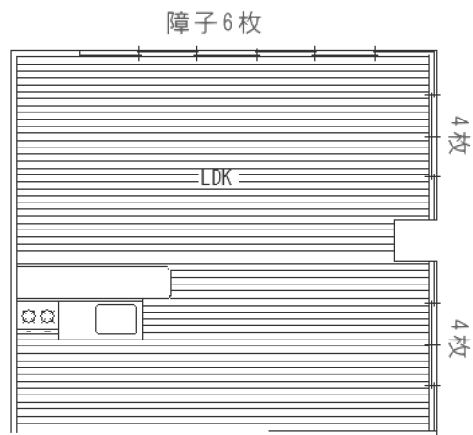
障子の大きさや場所によって、部材寸法を少しづつ変えています。

天袋や欄間等、上部につく障子は少し細くします。1・2ミリの違いで、部屋の雰囲気ぐっと垢ぬけます。

また、紙じゃくりをつけています。紙じゃくりをつけると、障子紙が張りやすく、仕上がりもきれいです。障子が反った時も、紙がこすれないので、きれいな状態が長く続きます。



雪見障子(硝子なし)新潟県産杉



【間取り】

左写真・間取りは、都心のマンション25Fのお部屋です。

二面ガラス張りで、スカイツリーや富士山が見えて見晴らしが良いのですが、とにかく、暑くてお困りでした。

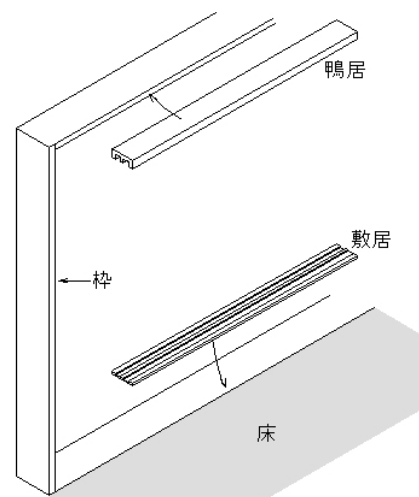
遮熱カーテンをつけても、効果があまりなく、部屋が暗くなってしま。色々、探していたところ、障子に断熱効果がある事をテレビで知り、ご依頼がありました。

景色をいかす為、雪見障子にし、お部屋の雰囲気に合わせて、モダンなデザインにしました。障子紙には、私達が思った以上に断熱効果があり、部屋も明るくなりました。

窓枠に敷居と鴨居がなかったので、弊社で製作し、そこに障子をつけました。

マンションで、このような方法で障子をつける事が増えています。

マンションは風が強くカーテンやブラインドがバタバタするので、引き違いの障子にしたい、コンクリートの壁の為、温かみがなく、湿気もたまるので、自然素材の障子を入れたい、などの理由が多いようです。窓枠が木製であれば、簡単に設置できます。



襖



小川和紙(細川紙)を柿渋で染めたものを襖に仕立てました

■ 襖を作る際のポイント

1、襖紙

襖紙には、色々な種類があります。和紙・からかみ・絵の入ったものや、地模様のあるもの。工期に余裕がありましたら、ある程度、部屋の内装が出来上がってから、現地に見本帳を持っていき、その場で選ぶとうまくいきます。壁の色や、光の加減で色の見え方が変わってくる為です。(見本帳貸出有ります)

2、襖の種類

襖は大きくわけて、2種類の作り方があります。1、下地板(又は単板)に襖紙を貼るもの、2、棧を組んで紙を張り重ねていくもの。通常は1の方法です。2は上等な仕上げで本襖と呼ばれます。ふっくらとして柔らかい雰囲気になります。

障子と組み合わせて明りが入る源氏襖、御殿襖もあります。(図面集:襖No.2・3)

■ 襖に使う材木

新潟県産杉・秋田杉・木曽檜 本襖は杉の白太

■ 襖を使う場所

廊下と部屋の間 ・ 部屋と部屋の間 ・ 押入

■ 高橋建具製作所の襖の特徴

その襖紙が一番きれいに仕上がる方法(裏打ち、下張り、下地の棧など)で製作します。

茶室建具



本襖 窓障子(内山和紙)

■ 茶室建具を作る際のポイント

職人とともに作る

茶室建具は、パッと見た感じでは単純な姿のものが多いですが、工夫が沢山詰まっています。

襖の隅にしわがよらずピンと仕上がる工夫。本襖が反らないような工夫。紙の継ぎ目がバランス良く美しく見える工夫等。本に書いていない事も沢山あります。もし機会がありましたら、作り手の工場に訪れて一緒に相談して作ると、仕上がりのよい希望通りの建具になります。

■ 茶室建具に使う材木

新潟県産杉

■ 茶室建具の種類

本襖(太鼓襖とも呼びます。灯り張り・重ね張り) 障子 腰板付き障子 掛け障子 (図面集:茶室建具No.1・2・3)

■ 高橋建具製作所の茶室建具の特徴

弊社のある新発田(しばた)市は、城下町で藩主が推奨した事より、茶道が盛んな町です。職人も多く働いています。

茶室建具は、気心の知れた腕の良い表具屋さんとともに、伝統的な製法に忠実に作っております。

格子戸



大阪格子(新潟県産杉)

■ 格子戸を作る際のポイント

1、機能

格子戸は、風を通す、逆に風を遮る、目隠しにする、空間を仕切る、など機能を求めて作られる事が多いです。欲しい機能を決めてから、デザインを考えてくとうまいきます。左写真の大阪格子のように、障子の取り外しができ、冬は暖かく、夏は風通しの良いものもあります。(図面集ご参照下さい)

2、硝子

格子戸に使う硝子の種類、入れ方は色々あります。

スリガラスや、タペストリーガラスのように中が見えにくいもの。普通のガラスより強く割れても粒になり怪我をしにくい強化ガラス。パターンガラス(チェッカー・モール等)も最近人気があります。入れ方も、違うガラスを組み合わせた大正ロマン風のものなど色々あります。(図面集:格子戸No.3)

■ 格子戸に使う材料

新潟県産杉・秋田杉・木曽檜・檜・ウォールナット

■ 格子戸を使う場所

キッチンとリビングの間 玄関ポーチとリビングの間 部屋と部屋の仕切り

■ 高橋建具製作所の格子戸の特徴

格子戸は、棧の美しさが魅力の1つです。弊社では、棧を良く研いだ鉋で面取りしていますので、仕上がりがきれいです。

木まじめシリーズ



カットガラス入り框戸(新潟県産杉)

■ 木まじめシリーズを作る際のポイント

木まじめシリーズとは、樹齢80年程の新潟の杉を使った高橋建具オリジナルの建具です。

小さなお子さんが口しても安全な地元材料で、保育園でも好評です。ただ、若い木の為、柔らかく傷がつきやすい材ですので、客間などかしまった場合はさけた方が無難です。

硝子を入れたり、デザインは色々できます。(図面集ご参照下さい。)

■ 木まじめシリーズを使う場所

リビング・子供部屋・寝室・トイレ・洗面脱衣所・押入・クローゼット

(若い杉は、調湿作用が大きいので、押入・クローゼットにおすすめ)

■ 木まじめシリーズに使う材料

新潟の樹齢80年程の杉

■ 高橋建具製作所の木まじめシリーズの特徴

弊社では、若い杉ならではの人肌のような優しさを残す為、無塗装でもお出ししています。

塗装をしない分、最後に鉋で丁寧に仕上げます。

簾戸



萩のすだれを使った簾戸 透かし彫りは撫子

■ 簾戸を作る際のポイント

1、すだれの素材

簾戸(すど)は、簾(すだれ)をはめこんだ風通しの良い建具で、昔から日本の蒸し暑い夏を心地よくすごす為に使われてきました。すだれには、萩・葎などがございます。お好みや、部屋の雰囲気に合わせてお選び下さい。

2、しまう場所

新築やリフォームで簾戸を採用する際、しまう保管場所を計画しておくですっきり片付きます。

工事なしで、建具だけ簾戸に変える時や、家の間取りの都合で保管場所を確保する事が難しい場合は、中だけ交換できる障子兼用タイプ(図面集ご参照下さい)がおすすめです。見えてもお洒落な簾戸収納袋もあります。

■ 簾戸を使う場所

和室と廊下の間 和室と和室の間 サッシの内側 リビングと和室の間 マンションの畳コーナーの仕切り

■ 簾戸に使う材料

杉・萩・御形・葎・竹ヒゴ・黒竹

簾戸は、専門のカタログがございます。素材の詳細や、デザインについてはこちらをご覧ください。



和室とリビングの間 すだれは萩使用



上左:キッチンの窓 上右:マンションの畳コーナー (どちらもすだれは焼きヒゴ)

下:障子と兼用できる簾戸(すだれは天津ヨシ)

【納品までの流れ】

① デザイン・樹種・ご予算などをご相談・打合せ

まずは、メール・お電話・FAX・郵便にて、ご希望をお聞かせ下さい。

新発田・新潟市近郊は、担当の五十嵐がご都合の良い日に伺います。

関東方面にお住まいの方は、月に1度の新宿の住まいのオーダーメイド館にて建具相談をご利用下さい。

(H27年開催日 2/21 3/14 4/18 5/16 6/20 7/18 9/19 10/17 11/21 全て土曜 10～12時。予約制。

午後から建具ワークショップもしております。ご予約状況、詳細はホームページをご参照下さい。)

② ご提案、図面の作成・概算のお見積り作成 ・採寸

お近くの方は、担当が資料をお持ちします。遠方の方は、郵便やメール等ご希望の方法にてお送りします。

③ デザイン、取手・鍵などの部品など細かい部分も含めて再検討 何度でもどうぞ。

④ 決定

⑥ お振込 初回のみ前払にてお願いしております

⑦ ご入金確認後、製作に入ります。

製作内容によりますが、約2～3週間かかります。随時、正確な納品期間を、ご連絡します。

⑧ 納品

*採寸・納品は、ご希望や地域により方法が変わります。ご相談の上、随時ご提案いたしま

【会 社 概 要】

有限会社 高橋建具製作所

新潟県新発田市小舟町1-15-5

TEL：0254-22-6450

FAX：0254-22-7096

メール：info@kimajime.co.jp

ホームページ：<http://www.kimajime.co.jp>

創業：昭和36年

代表取締役社長：高橋孝一

従業員数：6名

営業品目：木製建具・家具

営業範囲：新潟・関東甲信越

東京ショールーム：東京都新宿区新宿1-2-1 住まいのオーダーメイド館403内

TEL：03-3358-8843

